

感染症防止対策

6月1日に学校が再開され、本校では、児童も教職員も「マスク・手洗い・距離空けよう」という6月の生活目標を踏まえながら生活しているところです。

とりわけ本校には、「ことばの教室」という通級指導教室があり、どのような対策を講ずれば安全に指導できるのか頭を悩ませていました。「ことばの教室」においては、口の開け方や舌の動き等を見るために、マスクを外しての指導が必要になってくるからです。そこで、「ことばの教室」の先生は、フェイスシールドや対面指導のためのパーテーションを手作りしたりして感染防止に向けた対策を講じています。「ことばの教室」以外の先生も、工夫しながら授業を行っているところです。



パーテーションを挟み個別指導



パーテーションを挟みテスト直し



うがいの練習



「ことばの教室」での対面指導



「ことばの教室」での対面指導

また、児童下校後は、担任や担当者が、各教室のドアやスイッチ、机や給食の配膳台など消毒液を使って拭いています。授業時にも、養護教諭が雑巾を持って校舎内を回り、すみずみまで拭いています。このような努力も、学校が安心して学べる場であるように、また、感染者が出ないようにという願いからです。せっかくの学校再開。学校も少しずつ日常を取り戻しつつありますが、この日常が続くように、気を緩めることなく過ごしていきましょう。



校舎の手摺等を拭く養護教諭



しっかり手洗い



手作りパーテーション